

Satellite Square

「Exhibitionism—ザ・ローリング・ストーンズ展」「アフターNABショー」「GISコミュニティフォーラム」

神谷 直亮

今月は、まず、初の大規模世界巡回展と銘打った「Exhibitionism—ザ・ローリング・ストーンズ展」に触れる。次いで、恒例の「アフターNABショー」と観測衛星をテーマにした「GISコミュニティフォーラム」についてレポートする。

「Exhibitionism—ザ・ローリング・ストーンズ展」

「Exhibitionism—ザ・ローリング・ストーンズ展」は、3月15日から6月5日まで東京・TOC五反田メッセで開催された。初の大規模世界巡回展と言うだけあり、1962年の無名時代から現在までのすべてをさらけ出した見応えのある展示会であった。数々のライブやドキュメント映像に混じって、500点以上のストーンズアイテムが実に見事に甦っていた。中でもギターギャラリーに並んだキース・リチャーズが愛用していたハーモニー製エレクトリックギターと、ローリング・ストーンズ独特の「Lips and Tongue」のロゴマークが目をつけた。この巡回展のクライマックスは、「ローリング・ストーンズ公演2013」（ロンドンのハイドパークで開催）のライブ3D映像であった。今時何で3Dと言われるかもしれないが、歌いながらステージを駆けまわるミック・ジャガーの飛び出し映像は、実に臨場感に満ち溢れていた。ちなみに、久し



写真1 1962年に撮影されたというストーンズ初の写真が公開された

ぶりに出くわしたデジタル3Dシステムは、リアルディー（RealD）社の円偏光3Dメガネを採用したものであった。

「アフターNABショー」

全米放送事業者協会（NAB）公認の「アフターNABショー」は、5月22日、23日に秋葉原UDX（東京・千代田区）で開催され、カメラから衛星通信アンテナまで多種多様な展示で賑わった。

まず、カメラの展示で注目を集めたのは、パナソニック、RAID、ブラックマジックデザイン、ニューエックスだ。

パナソニックは、「Creativity & Connectivity」をキャッチコピーに掲げて、4K HDR 10bitの収録を実現する1.0型ハイエンド・ハンドヘルドカメラ「AG-CX350」を出展した。ブースの担当者は、「IP接続が可能で、RTMPストリーミングに対応している」と熱心に売り込んでいた。同社のブースでは、業界初という高画質4K 60p 12G-SDI対応のPTZカメラ「AW-UE150」も紹介された。特色は、光学20倍ズームを搭載し、水平71.5度のワイド撮影が可能という。



写真2 ギターギャラリーでは、キース・リチャーズが1963年に購入したという珍しいエレクトリックギターが目についた。



写真3 パナソニックは、最新の1.0型ハイエンド・ハンドヘルドカメラ「AG-CX350」を出展して注目を集めた。

RAIDは、「DSMC2 GEMINI 5K S35」カメラを出展し「従来のDRAGONと比べセンサーのノイズが少なく、暗部に対して強力な威力を発揮する。スタンダードと低照度の2つの感度モードの切り替えができる。5K解像度で最大96fpsの高速撮影が可能」とPRに余念がなかった。

ブラックマジックデザインは、「URSA Mini Pro 4.6K」と「URSA Broadcast」を披露した。前者については、「4.6K 120fps、4K 150fps、2K 300fpsの撮影が可能」と語っていた。後者には、FUJINONの4K B4レンズ「LA16 x 8BRM」が搭載されていた。

ニューエックスは、2種のスモールカメラをブースに並べて、来場者の目を引いた。「CIS VCC-4K2」は、ソニーの1インチグローバルシャッターCMOS「Pregius」4KカメラにCIS（Camera & Imaging Systems）のオリジナル高画質エンジン「Clairvu」を搭載している。「CIS VCC-HD3」は、同じくソニーの1/1.8インチグローバルシャッター「Pregius」と「Clairvu」を駆使するHDカメラである。どちらも24p対応とのことであった。

キャムキャストは、DRAGON 5KカメラとTeradek RTを紹介した。Teradek RTは、フォーカス、アイリス、ズームをコントロールする「CTRL」、カメラにマウントするレシーバー「MDR.X」、レンズモーター「MOTR.X」で構成される。今回DRAGONには、「MDR.X」と「MOTR.X」をマウ



写真4 エーティコミュニケーションズは、スーツケース「CCT120」(右)と「Satcube Ku」(左奥)を目玉にして出展した。



写真5 パスコは、7種の高解像度衛星観測データの売込みに余念がなかった。

ントし、コントローラーで正確なコントロールが可能であることを実演していた。

衛星通信のアンテナを紹介して注目を集めたのは、**エーティコミュニケーションズ**だ。今回ブースで販売に力を入れているのは、「Satcube Ku」とスーツケース「CCT120」である。「Satcube Ku」は、世界で最もコンパクトで、IPモデム内蔵、バッテリーで駆動するポータブル型ブロードバンド衛星通信端末として知られている。ラップトップPCより少し大きな形状であるが、重量は8kgと超軽量を誇る。ブースの担当者は、「通信速度は、使用する衛星にもよるが20Mbpsを達成したことがある」と語っていた。「CCT120」は、革新的なモジュラー構造の衛星通信ターミナルで、Ku/Ka/Xバンド通信に対応できる。アンテナサイズは1.2mであるが、重量は39kgに仕上がっている。通信速度については、「20Mbps以上の伝送が可能」と語っていた。

カメラとアンテナ以外で目立ったのは、**日本コントロールシステム(NCS)**の4K8K非圧縮レコーダ「DRB8000」、IBMの大容量データ高速転送ソリューション「Aspera」、NewTekの「TriCaster TC1」、クロスイメージングの「BOLT Weather Station」だ。

「DRB8000」は、8K 120Hz 4:4:4RGB 60分の非圧縮記録・再生を実現する優れたものである。規格面では、BT.2020、ARIB STD-B58、ITU-R BT.2077 Part2に対応している。ブースに展示された製品には、15.6型WXGAタッチパネルが装備されており快適なレスポンスが確認できた。

「Aspera」は、増加の一途をたどるビッグデータを安全に、かつ最速で転送できる画期的なソリューションだ。ブースの担当者は、「要は、特許を取得済みのFASPテクノロジー」と語っていた。

「TriCaster TC1」は、TriCasterシリーズとして初めて4K 60pをサポートする最上位のライブ・プロダクションシステムである。16チャンネル入力、IPライブビデオ制作ワークフローをサポートするNDI(NewTekが開発したプロトコル)を実装している。

「BOLT Weather Station」は、3D気象情報作画システムだ。気象庁や民間気象会社から送られてくるGPVなどの気象データを解析し、放送送出向けの画面を作成している。取り扱っているGPVデータは、全球予報モデル、局地予報モデル、紫外線情報、黄砂、海面水温など多岐に及ぶ。

「GISコミュニティフォーラム」

「The Science of Where」をキャッチコピーに掲げた15回「GISコミュニティフォーラム」は、5月23日、24日に東京ミッドタウン六本木で開催された。GISは、「Geographic Information System」の略で、地理情報システムを意味している。

今回の会場には、PASCO、日本スペースイメージング(JSI)、NTTデータ、RICOHなど28社、団体、大学が出展し、基調講演、発表会、セミナーも数えきれないほどたくさん行われていた。

P A S C Oは、「ALOS-2」「ALOS-3」「Spot-6」「Spot-7」「Pleiades」「Radarsat-2」「TerraSAR-X」など、たくさんの観測衛星のデータ活

用例を紹介した。

「ALOS-2」は、JAXAが打ち上げた陸域観測技術衛星で、Lバンド地表可視レーダを搭載している。今回ブースでは、同衛星のSARデータを活用して作成した北海道胆振東部地震の被災状況を示す衛星画像を披露した。「Spot-6」「Spot-7」は、フランスのエアバス & デフェンスが運用する新世代の光学衛星である。2機の衛星が180度向かい合って軌道に配置されているので、地球上のどの場所でも少なくとも一日一回観測することができるという。

JSIは、米デジタル・グローブ社の高精細衛星画像製品を販売している。今回ブースでは、「WorldView-3」「WorldView-2」「Geo-Eye-1」の3機の衛星のデータを売り込んでいた。2014年に打ち上げられた「WorldView-3」は、世界で初めて31cmの解像度での撮影を実現した衛星とのことであった。

NTTデータは、「AW3D(全世界デジタル3D地図)」を紹介して注目を集めた。画像データは、上述した「WorldView-3」が取得したものの使用しているという。

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト





HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

http://www.bizsat.jp

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m以下(地下駐車場可)

3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ボール4m 搭載
強化サスペンション
国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

